

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	岐阜市立女子短期大学	整理番号	2-5-008
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	デザインを通じた地域との交流による教育		
申請単位	学科単位		
申請担当者	宮本 教 雄		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は地域の中にある大学という概念から、大学と地域という二重の教育の場を設定し、相互の場の人材が互いの場で交流し、活動する事によって、「学生を育てる」、「地域を育てる」事を目的にしている。また地域での教育活動をより効果的に行うために、教育の場、教育者、対象者、目的、内容の5つの要素を選択し、組み合わせることで、組織的、総合的な教育として整理を行った。</p> <p>主な教育活動は、次のとおりである。①地域をテーマとする課題研究・卒業研究の実施と、地域における発表会の公開。②地域に関する特別講義の実施と公開。③岐阜市の職員を講師に迎え、現場の見学を取り入れた実践的な授業の実施。④官学との共同による地域企画の開催。⑤岐阜市生涯学習施設内ファッションライブラリーでの学生の作品展示や、教員の公開講座・ワークショップの開催。⑥リカレント教育を目的とした公開講座の実施。⑥地元アパレル企業とのインターンシップの実施。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科の学科目標である「地域社会における職業人の育成」、とりわけアパレル産業のための人材育成を実現するために計画された地域産業人材育成型の優れた特色ある取組であります。平成12年から岐阜市立女子短期大学の学科再編によって、生活デザイン学科として、カリキュラム編制、学生の実習やインターンシップ、公開講座やイベント、学科の専門的研究など、トータルに大学と産業界、そして行政とのコラボレイトをはかる試みがなされており、地域産業人材養成型の特色ある試みとして、他の短期大学の参考になる事例であります。</p> <p>しかし、こうした総合的取組がはじまってまだ日が浅く、十分な実績が積み重ねられているとはいえないが、岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科がトータルに地域とコラボレイトしていこうとする点では、今後の短期大学のひとつのあり方を示すものと思われれます。</p>			